

三和の透明パネルシャッター

クリアード

Sタイプ

Fタイプ
防火設備タイプ

取扱説明書



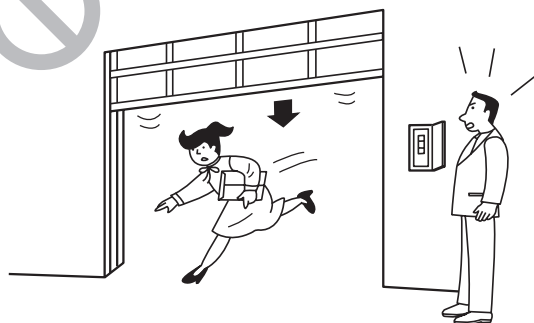
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
また、いつでもお読みいただけるよう大切に保管してください。
※建設会社・お施主様へ

この取扱説明書は実際にご使用される方へ必ずお渡しください。

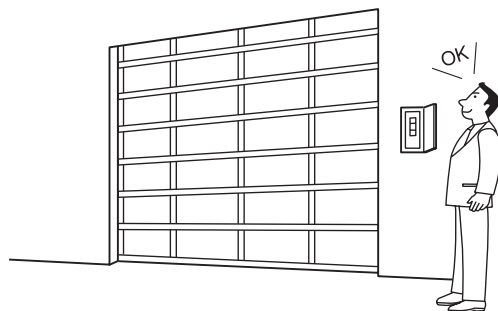
ご使用上の注意



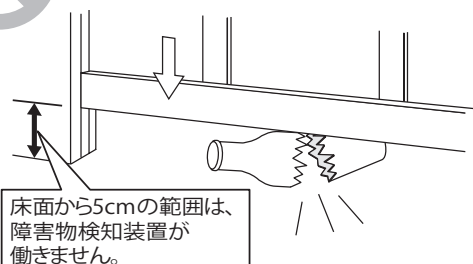
警告： 次の警告事項を必ず守ってください。死亡または重傷を負う可能性があります。



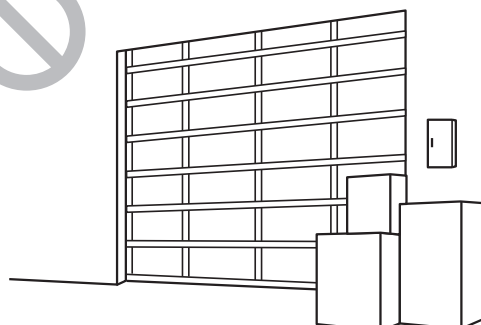
パネル開閉中は、人や車の出入りを絶対におやめください。はさまれると危険です。



パネルの開閉が完全に終了するまで離れないでください。緊急時の停止操作ができません。



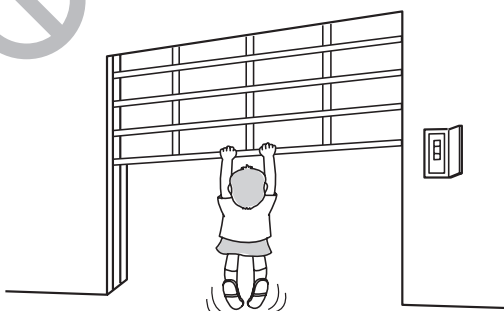
閉鎖中のパネルの下には、絶対に手や足を入れないでください。はさまれて手や足を骨折したり切断するおそれがあります。



押ボタンスイッチの周りには、障害物となる物を置かないでください。緊急のとき操作できません。



パネルにハシゴなどを立て掛けて作業をしないでください。パネルが動いて転落するおそれがあります。

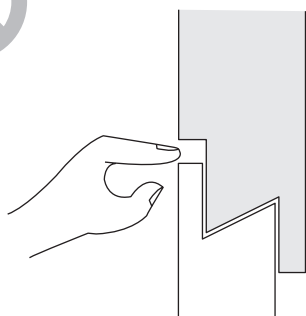


パネルにぶらさがらないでください。はさまれたり、落下して重傷を負うおそれがあります。

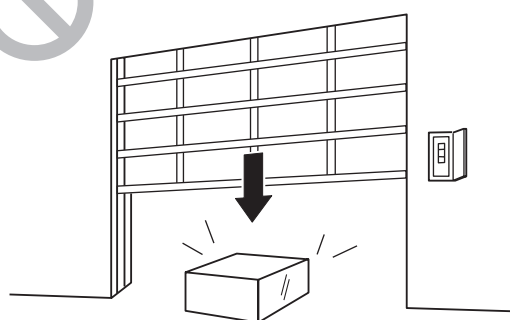
ご使用上の注意



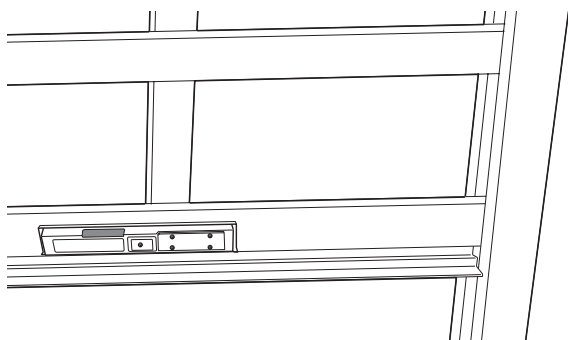
注意： 次の注意事項を必ず守ってください。軽傷を負うか、または物的損害の可能性があります。



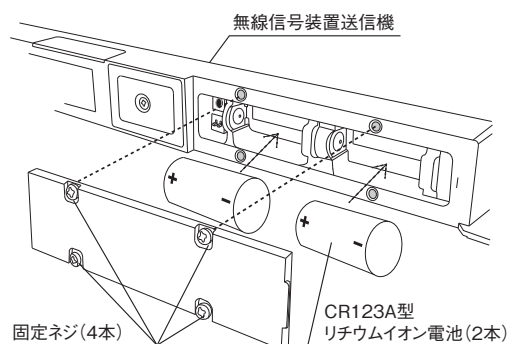
開閉動作中は、パネルにさわらないでください。
パネルの溝に指をはさみ、ケガをするおそれがあります。



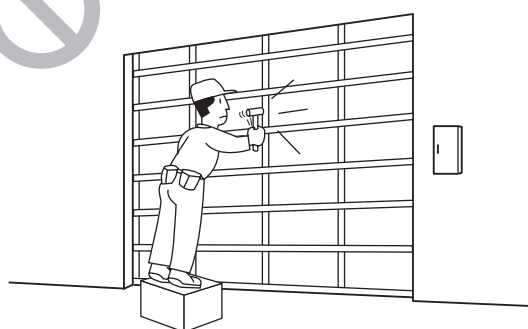
パネルの開閉に支障となるような器物を置かないでください。パネルや器物を破損するおそれがあります。



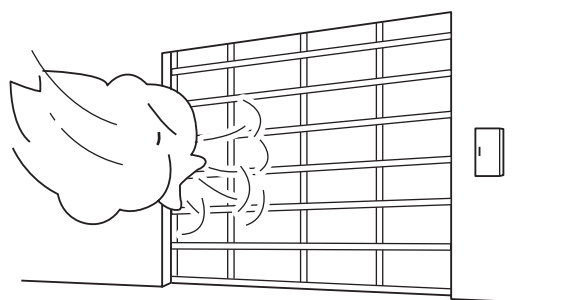
障害物検知装置は、最低1ヵ月に1度、作動の確認をしてください。(15ページを参照してください)



障害物検知装置の無線信号装置送信機の電池は定期的に交換してください。(14ページを参照してください)



パネルの改造、分解は行わないでください。
故障または性能低下の原因となります。

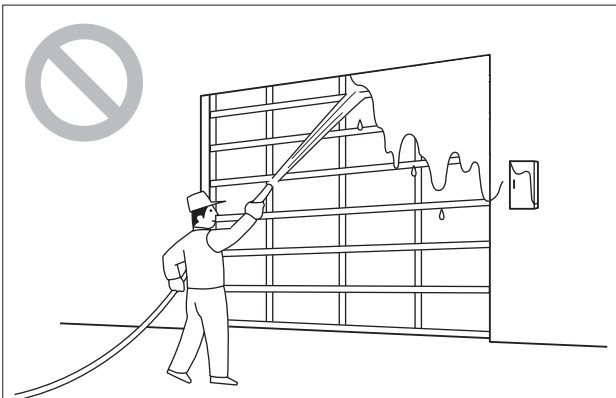


台風などの強風時は、パネルを開閉しないでください。
パネルが壊れるおそれがあります。

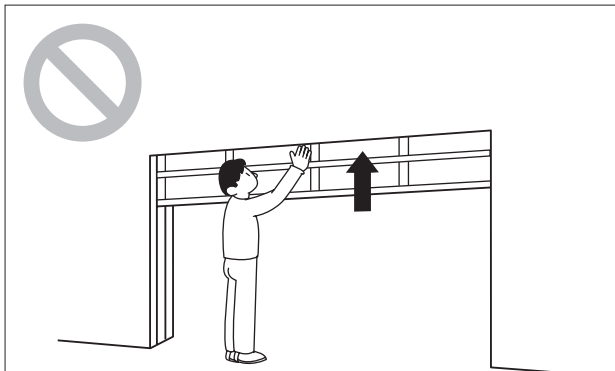
ご使用上の注意



注意： 次の注意事項を必ず守ってください。軽傷を負うか、または物的損害の可能性があります。

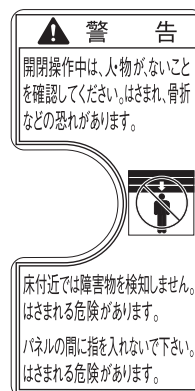


スイッチ・制御盤など、電気部品の周辺には水をかけないでください。
漏電、誤作動などの故障の原因になることがあります。

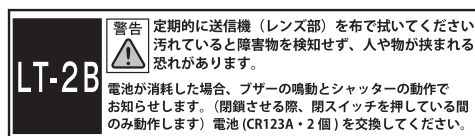


開閉動作中は、パネルに手をふれないでください。
まぐさの間に手をはさむおそれがあります。

当商品では、お客様に特に注意して
正しくご使用いただくための「警告ラベル」を
スイッチボックスのフタおよび無線信号装置
送信機に貼り付けています。
十分ご理解のうえご使用ください。



〈スイッチボックス〉



〈無線信号装置送信機〉

● 停電時の操作

停電時の操作は、専用の操作用具（チェーンまたはハンドル）を用いて行います。

開閉機の種類によっては、操作用具がオプションとなっているため設置していない場合があります。その場合は最寄りの三和シャッター工業（株）営業所またはFTS（修理連絡先）までご連絡ください。



警告

「緊急必要時以外」は停電復帰を待って、通常の操作を行ってください。

やむをえず手で操作をする場合は、下記の事項を確認してください。

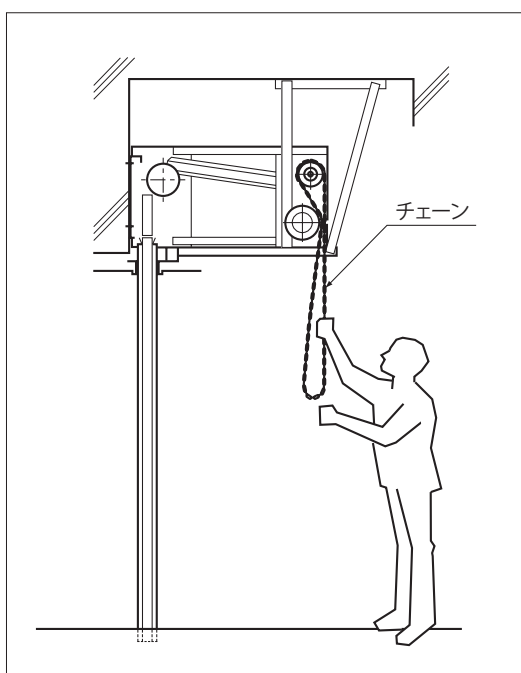
- 高い所での作業は、足場の安全を確保してから行ってください。
- パネル開閉中は、人や車の出入りを絶対におやめください。はさまれると危険です。
- 操作中に「停電復帰」のおそれがあります。事前に制御盤のブレーカまたはパネルシャッターの電源を切ってください。
- 点検口を開ける際、チェーンやハンドルが落下してくることがありますので注意して開けてください。

お願い

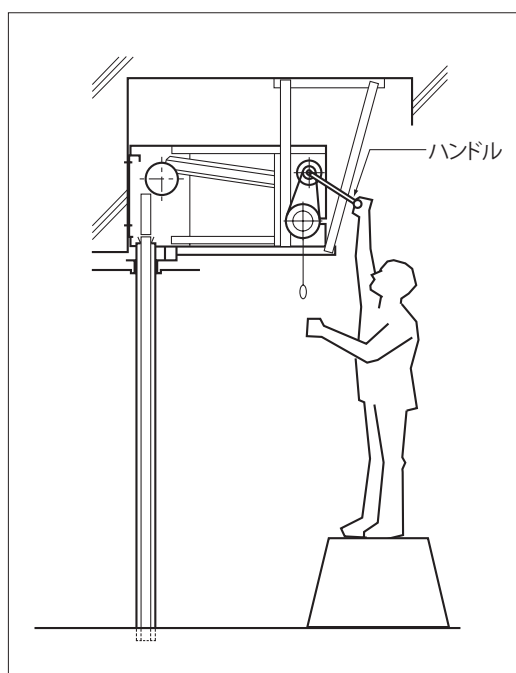
- チェーン操作時、ブレーキ解放ひもが垂れ下がっているとチェーンガイドに巻き込むおそれがあります。
- 操作用具（チェーンまたはハンドル）によりパネルを開放するときは、全開近くになりましたらそれ以上開放しないでください。座板がまぐさにあたり、まぐさが損壊するおそれがあります。
- 操作終了後は操作用具（チェーンまたはハンドル）をもとの状態に戻してください。特にハンドル式の場合は、操作後、開閉機にハンドルが付いたままになっていないことを確認してください。

- 天井の点検口を開けてください。
- 操作方法はチェーン式とハンドル式があります。開閉機に設置されている方法に基づいて操作用具（チェーンまたはハンドル）をセットし、操作を行ってください。

チェーン操作



ハンドル操作



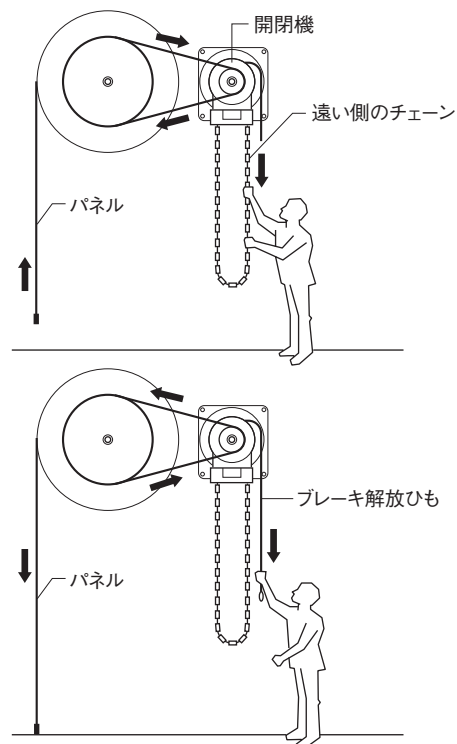
チェーン式の操作方法

■パネルを開放するとき

- ①チェーンをのばし、パネルから遠い側のチェーンを引いてください。
パネルが上昇します。
- ②パネルが上限位置(天井面)まで開放されたら、それ以上チェーンを引かないでください。故障の原因になります。
- ③チェーンをチェーン収納袋に入れてください。

■パネルを閉鎖するとき

- ①パネルの下に障害物のないことを確認してください。
- ②ブレーキ解放ひもを引くと高速でパネルが閉まるので、解放ひもは注意しながら少しずつ操作してください。
解放ひもを放すとパネルは停止します。
- ③パネルが床面に接触したら、ブレーキ解放ひもを放してください。
下げすぎは故障の原因になります。



※ 手動操作の方法につきましては、ブレーキ解放ひもの先端に付いている「手動操作札」にも記載しています。

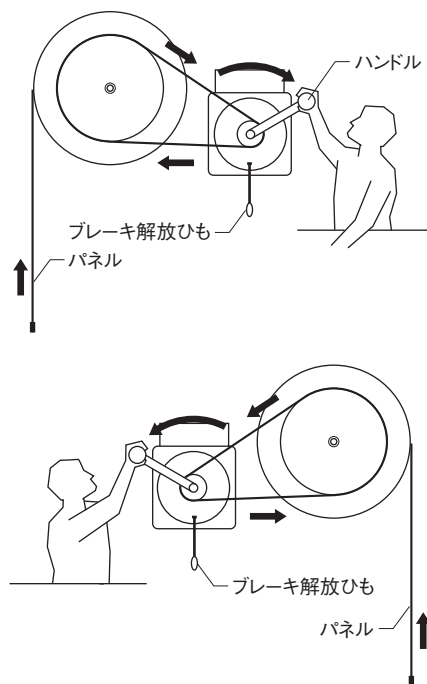
ハンドル式の操作方法

■パネルを開放するとき

- ①ハンドルを開閉機の軸に止まるまで差し込んでください。
- ②ハンドル側からみてパネルが左側にあるときは、ハンドルを右に回してください。ハンドル側からみてパネルが右側にあるときは、ハンドルを左に回してください。パネルが上昇します。
- ③パネルが上限位置(天井面)まで開放されたら、それ以上ハンドルを回さないでください。故障の原因になります。
- ④開放操作が終了したら、必ずハンドルを開閉機の軸から外してください。
外したハンドルは開閉機よこのハンドルかけに掛けて収納してください。

■パネルを閉鎖するとき

- ①パネルの下に障害物のないことを確認してください。
- ②開閉機の軸にハンドルが付いていないことを確認してください。
ハンドルが付いているときは必ず軸から外し、開閉機よこのハンドルかけに掛けてください。
ハンドルを付けたままでパネルを下ろすと、振動によりハンドルが落下するおそれがあり、危険です。
- ③ブレーキ解放ひもを引くと高速でパネルが閉まるので、解放ひもは注意しながら少しずつ操作してください。
解放ひもを放すとパネルは停止します。
- ④パネルが床面に接触したら、ブレーキ解放ひもを放してください。
下げすぎは故障の原因になります。



※ 手動操作の方法につきましては、ブレーキ解放ひもの先端に付いている「手動操作札」にも記載しています。